

お知らせ

- ・報告書が出来上がりました

開催報告

- ・Ocha-IGL Award 2022英語によるエッセイコンテスト授賞式
- ・みがかずば研究員交流会・セミナー
- ・若手研究者支援(海外調査)
- ・第27回IGLセミナー「霞が関生活から学ぶ仕事の仕方(基礎編)」
- ・第29回IGLセミナー「Becoming the Best of Yourself: あなたの『生きる』と『学ぶ』を重ねる」
- ・第31回IGLセミナー「万国博覧会史に刻む足跡—日本に『開催国マインド』は可能なのか」
- ・国際シンポジウム「『ガラスの崖』をよじ登る:『ガラスの天井』の先にあるもうひとつの見えない障壁」
- ・第32回IGLセミナー「学校から職業への移行—現状とその課題」
- ・女性学長サミット「私たちの歩んだ道、歩む道—女性リーダーシップの新時代を拓く」

後期授業報告

- ・アカデミック女性リーダーへの道(実践編)
- ・グローバル・リーダーシップ実習 I・II
- ・女性のキャリアと法制度
- ・女性のキャリアと経済
- ・ダイバーシティ論
- ・グローバル女性リーダー特論(基礎編)

德音塾

- ・2022年度後期活動報告と2023年度の講座案内

2023年度前期IGL関連授業

- ・前期授業

研究所から

- ・新しい図書が入りました
- ・小林 誠 グローバルリーダーシップ研究所 研究所長退任のご挨拶

お知らせ

報告書が出来上がりました

学長カンファレンス「明日へ」

【開催日時】2021年12月1日

【講演者】本学 佐々木泰子学長

梨花女子大学 金恩美総長

国際シンポジウム「インドおよびインドネシアにおける女性リーダー」

【開催日時】2021年12月16日

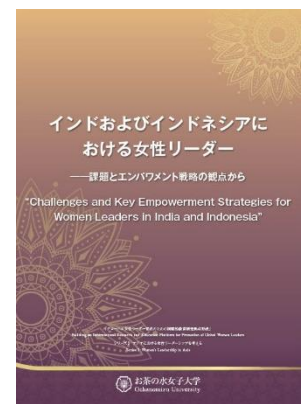
【講演者】コリーナ・リアントプトラ

特別招聘教授 他

ウェブサイトにて公開しています。➤



【学長カンファレンス報告書】



【国際シンポジウム報告書】

Ocha-IGL Award 2022 英語によるエッセイコンテスト授賞式



Ocha-IGL Award 2022授賞式を3月13日(月)に人間文化創成科学研究科棟508室にて開催しました。今回の授賞式は、新型コロナウイルス感染症の流行以来初めて、対面で行われました。

2020年度に始まったこのコンテストは、IGL主催のシンポジウムでご講演いただいたミュンヘン工科大学副学長クラウディア・ポイス教授、コロンビア大学Adjunct Professorおよび元世界銀行グループ多数国間投資保証機関長官CEOの本田桂子氏をはじめとする先生方の講演料ご寄付のお申し出に基づき創設、開催されています。

2022年1月～2023年2月に開催したIGL主催または共催のシンポジウム、セミナーに参加した本学学生(学部生・大学院生・研究生)を対象として「IGLセミナーにおいてリーダーシップ/リーダーについてどのような学びが得られたか、その学びを今後どのように活かしていきたいか」について英語によるエッセイを募りました。9名の応募エッセイについて厳正な審査が行われ、3名に賞が贈呈されることとなりました。



最後に受賞者からは「今後も大学内外においてリーダーシップを学びまた実践できるよう、励んでまいります」と受賞の喜びが語られました。

IGLでは今後もリーダーシップに関するオンラインセミナー、シンポジウムへの参加を学生に呼びかけ、IGL Awardへの応募を通じて英語で自分の意見を発信する機会を設けます。



文責：Ocha-IGL Award事務局
(グローバルリーダーシップ研究所
アカデミック・アシスタント 稲垣 明子、小林 敦子
企画戦略課 男女共同参画担当 副課長 本橋 直美)



授賞式では小林研究所長から賞設立経緯の説明と「今後も本学で学んだリーダーシップの知見を活かしてご活躍ください」と挨拶があり、賞状と副賞の授与が行われました。その後審査員(岡村特任講師、宝月特任講師)からそれぞれの受賞エッセイについて講評が行われ、「今後もお茶大の環境の中で様々なことを学びリーダーシップの探求を続け、ソフトスキルを伸ばしていくことに期待しています」とメッセージが贈られました。



本学では、すぐれた女性研究者の継続的な研究活動を支援し、女性研究者が研究中断後に円滑に現場復帰する機会を提供するために、独自の特別研究員（呼称：みがかずば研究員）制度を導入しています。

2022年度第2回みがかずば研究員交流会を1月27日に開催しました。研究分野の異なる他の研究員や研究所所属の先生方との意見交換を通して、自身の研究を客観的に見つめ直す有意義な会となりました。

また、新企画として、みがかずば研究員主催セミナー「玉も鏡もみがいてこそ わかっているけどどうやって!？」を9月22日および2月24日に実施しました。各研究員の経

験に基づき、論文執筆や就職活動、研究費取得等の情報を共有し、後輩研究者を激励しました。

(参考)

女性研究者のための研究継続奨励型「特別研究員制度」(呼称「みがかずば研究員制度」)の創設



「特別研究員制度」ページ

文責：堀田 華

(企画戦略課 男女共同参画担当 係員)



若手研究者支援(海外調査)

グローバルリーダーシップ研究所では、国際的に活躍するアカデミック女性リーダーの育成を目的として、今年度新たに名称を「若手研究者支援」と変更し、本学の大学院博士後期課程の学生、みがかずば研究員、ポスドク研究者等の海外調査研究(海外における文献や資料の調査、フィールド・ワーク)を対象とした助成金公募を実施しました。選考委員会による審査の結果、4名の採択者が決定しました。

採択者の小阪亜矢子さん、三浦尚子さん、金鉉卿さん、エルデネー・ビンデリアさんは、書籍の出版、学会発表、

博士論文の執筆につながる貴重な現地調査を行いました。その成果をまとめた報告書はグローバルリーダーシップ研究所のWebサイト上に公開されています。

2023年度の「若手研究者支援」は、海外調査研究や国際学会等での発表に対し、海外渡航費(往復の航空券代)の支援を行う予定です。詳細は3月中に公開します。奮ってご応募ください。



文責：深澤 南土実
(グローバルリーダーシップ研究所 特任アソシエイトフェロー)

2022年度「若手研究者支援」ページ

2022年度「若手研究者支援」採択者一覧

採択者	調査先	研究内容
小阪亜矢子(博士後期課程 比較社会文化学専攻)	パリ(フランス)	後期ドビュッシーの歌曲におけるテキスト音声と楽曲の関係
金鉉卿(博士後期課程 人間発達科学専攻)	ソウル(韓国)	介護サービスにおける福祉ミックスの再編成 -日韓都市部の自治体の事例比較-
三浦尚子(みがかずば研究員)	ガジアンテップ(トルコ)	ワラビスタン(埼玉県蕨市・川口市)と北クルディスタン(トルコ南東部ガジアンテップ)における社会・空間構造の比較調査
エルデネー・ビンデリア(博士後期課程 比較社会文化学専攻)	ウランバートル(モンゴル)	モンゴル人大学生の読解過程と協働的ピア・リーディング活動の実践 JFL環境における言語使用の分析

第27回IGLセミナー 「霞ヶ関生活から学ぶ仕事の仕方(基礎編)」

お茶の水女子大学
Ochanomizu University

IGLセミナー開催のお知らせ
**霞ヶ関生活から学ぶ
仕事の仕方(基礎編)**

国家や社会のために働くという大きな営みの中で、女性はどういった立場にあり、どのような辛苦と達成を経験しているのか、新しい女性のリーダーシップのあり方をどう切り開いていくか、行政の最先端の現場経験から議論します。

消費者庁顧問 **伊藤 明子**

2022年**10月24日**(月) 16:40~18:10

会場: 小ホール (グローバルリーダーシップ研究所 研究棟)
会場: 小ホール (グローバルリーダーシップ研究所 研究棟)
会場: 小ホール (グローバルリーダーシップ研究所 研究棟)

2022年10月24日(月)のセミナーの講師は、消費者庁初の女性長官を務めた伊藤明子さんです。建設省(現国土交通省)入省後、国交省住宅局長などを経て2019年から2022年まで消費者庁長官に就任しました。政策を立てるといことは、政策的に誘導して選択できる環境を作る「誘導」と、安全など最低限のことを行う「規制」との大別があることを前提に、カーボンニュートラル、少子化、人生100年時代、世帯の変化、デジタル化、経済成長の鈍化、ジェンダーギャップ、ワークライフバランスな

どの課題が次々に取り上げられました。自身の生活も織り交ぜながら、「やるべきこと、やりたいこと、やれること」を見極めることが肝要という示唆をいただきました。

文責:小林 誠
(グローバルリーダーシップ研究所 研究所長)



第29回IGLセミナー 「Becoming the Best of Yourself: あなたの『生きる』と『学ぶ』を重ねる」

2022年11月10日(木)に福岡女子大学の和栗百恵准教授をお迎えしてIGLセミナーを開催しました。冒頭に和栗先生は“Becoming the Best of Yourself”に込められた意味を米国の教育哲学者マキシム・グリーン(Maxine Green)の“I am who I am not yet.”という言葉を紹介しながら説明してくれました。和栗先生は、リーダーシップを含む自己の開発は継続的な探求を必要とすることを指摘し、「自分は何を大切にしたい?」、「自分は社会に何をしたい?」と学生を含む参加者に問いかけました。またセルフ・リーダーシップという概念とともに「自信の発揮」という

観点でリーダーシップを捉えることの重要性を説きました。和栗先生からの問いかけに時折悩み、一生懸命に答える学生の姿が印象的でした。参加者は自分らしいリーダーシップの獲得にはまずは自己理解が必要であることを理解しその実践の手がかりをセミナーから得ることができました。

文責:岡村 利恵
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

お茶の水女子大学
Ochanomizu University

Becoming the Best of Yourself:
あなたの『生きる』と『学ぶ』を重ねる

Speaker
和栗 百恵
福岡女子大学 准教授

2022.**11.10**(木) 16:40~18:10

対象 学生・教職員・一般(参加費無料・先着順・要事前申込)
申込 ORコードまたは研究所HPからお申込み下さい。11月10日(木) 15:00まで
場所 お茶の水女子大学 国際交流センター 2階 多目的ホール



「万国博覧会史に刻む足跡—日本に『開催国マインド』は可能なのか」

京都大学大学院教授の佐野真由子氏を講師に迎え、11月18日(金)に国際交流留学生プラザ(Zoomによるハイブリッド形式)にてIGLセミナーを開催し、学内外から45名が参加しました。

講演では、170年にわたる万博の歴史を主な万博の規模やテーマ等から概観し、そこから万博の歴史的変遷についてお話し頂きました。次に、日本にとって初めての万博参加となる1862年ロンドン博を皮切りとして、R. オール

コック卿と幕府老中のあいだで交わされた万博参加に関する書簡をご紹介いただきました。その後、日本が万国博覧会の参加国から開催国へと転換が図られた1970年までの経緯からは、日本が国際社会で自国の位置を探り、向上させようとする軌跡が浮き彫りとなりました。

質疑応答では、2025年大阪・関西万博におけるリーダーシップについて、日本が従来の参加国マインドから開催国マインドに転換が図れるのかを軸にした活発な議論が行われ、万国博覧会への理解が深まったという声が多く寄せられました。

文責:倉脇 雅子

(グローバルリーダーシップ研究所 アカデミック・アシスタント)



国際シンポジウム

「『ガラスの崖』をよじ登る:『ガラスの天井』の先にあるもうひとつの見えない障壁」



2022年12月23日(金)にグローバルリーダーシップ研究所とジェンダー研究所との共催で国際シンポジウム「『ガラスの崖』をよじ登る:『ガラスの天井』の先にあるもうひとつの見えない障壁」(Climbing up the Glass Cliff: Another Invisible Barrier Behind the Glass Ceiling?)を開催しました。

ライアン教授は2000年代前半、女性が執行役員になった企業の業績は低迷しているとする英国でのメディア報道に対して一石を投じるかたちで「ガラスの崖」研究がスタートしたことを説明しました。ピーターソン先生はスウェーデンの高等教育の執行部は報酬の大きかった昔とは異なり、予算削減を背景に外部評価対応など負担の大きい仕事が増え困難なポジションとなりつつあるため、女性教員がそれら役割に担ぎ出されるようになったことを指摘しました。小久保先生は日本でのオンライン実験の結果、日本では危機のときに自信があって独立性があるなどの「作動性リーダー」がジェンダーに関わらず志向される傾向があり、これは「ガラスの崖」現象に導かれる仮説とは異なる結果であることを示しました。

本シンポジウムは企業からの参加者も多く、日本ではあまり知られていない「ガラスの崖」について意義深い内容を大学関係者以外にも幅広く届けることができました。

文責:岡村 利恵

(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

研究所としては海外からの登壇者が来日しての開催はパンデミック以降初めてとなりました。登壇者として「ガラスの崖」研究の第一人者であるオーストラリア国立大学のミッシェル・ライアン教授、スウェーデンの高等教育における「ガラスの崖」を研究しているエレブルー大学(スウェーデン)のヘレン・ピーターソン教授、日本で「ガラスの崖」について実証研究を行う立命館大学の小久保みどり教授の3名をお迎えしました。(※小久保教授のみオンライン登壇)



Institute for Global Leadership Seminar

学校から職業への移行—現状とその課題

Speaker
NAKAJIMA Yuri
中島 ゆり氏

長崎大学大学院イノベーションセンター教授、同大ダイバーシティ推進センター副センター長

学校を離れ社会人になる方法、時代、学校、地域によって異なります。また学校から職業への移行は年齢から成人期への移行とも重なります。現状と課題について学び、自分の将来とリーダーシップを考えたきっかけとしましょう。
これから社会人になる学生の皆さん、ぜひご参加ください。

司会 宝月 理恵 HOGETSU Rie
お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究推進講師

対象 学生、教員、一般

開催方法 対面（お茶の水女子大学国際会議室）とオンライン（Zoom）を同時開催

2023.1.20
FRI. 16:40-18:10

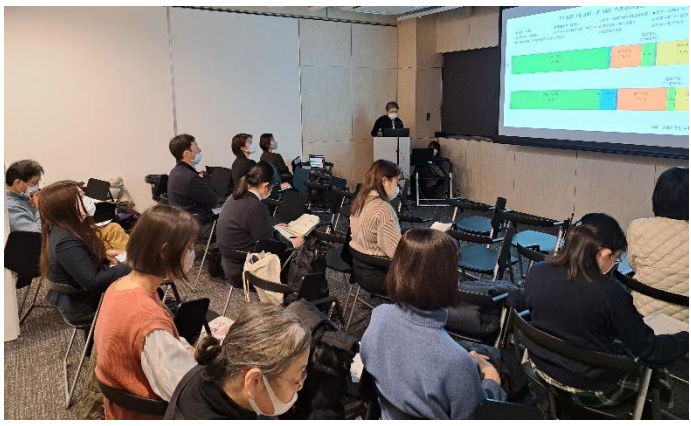
参加費無料・申込はこちらから
申し込み期間：2023.1.20 18:00
受付時間：14:45～17:00

お茶の水女子大学 国際会議室
〒162-8601 東京都文京区湯島1-3-1
TEL: 03-3826-8111 FAX: 03-3826-8112
URL: <http://www.u-t.ac.jp/>
お茶の水女子大学 国際会議室
〒162-8601 東京都文京区湯島1-3-1
TEL: 03-3826-8111 FAX: 03-3826-8112
URL: <http://www.u-t.ac.jp/>

2023年1月20日（金）、中島ゆり氏（長崎大学 大学教育イノベーションセンター教授IR部門長、同大ダイバーシティ推進センター副センター長）を講師として、第32回IGLセミナー「学校から職業への移行—現状とその課題」がハイブリッド開催され、対面・オンラインを合わせ42名の参加者を得ました。

業」への移行は「青少年期から成人期への移行」でもあり、自立・自律とは何か、自立観の地域性についてもお話いただきました。質疑応答では、就職後の「離家」（実家から離れて一人暮らしをすること）と自立との関係、進学と就職における東京一極集中の背景の違いについて質問が寄せられ、全体として有益な情報に満ちた充実したセミナーとなりました。

文責：宝月 理恵
（グローバルリーダーシップ研究所 特任講師）



中島氏のご専門は教育社会学です。まず、学校の社会化機能と選抜配分機能により、近代学校教育と職業との間に密接な関係があることが指摘されました。続いて、社会階層、ジェンダー、地域による進路の差を示す様々な統計データが紹介されました。大学進学時の地域移動について、実は地元県への進学率が増加していることなど、興味深い事例が複数示されました。最後に、「学校から職

女性学長サミット
「私たちの歩んだ道、歩む道—女性リーダーシップの新時代を拓く」

女性学長サミット
私たちの歩んだ道、歩む道
女性リーダーシップの新時代を拓く

2023年 2月7日(火)
対面 15:00-17:00
オンライン 14:45-17:00

参加者：佐々木泰子学長、植木朝子学長、大日向雅美学長、小原奈津子学長、鷹野景子学長、林佳世子学長、矢口悦子学長

お茶の水女子大学 講堂（音音堂）
ハイブリッド 無料

2023年2月7日（火）にグローバル女性リーダー育成研究機構の主催で、本学出身の学長を集めたハイブリッド開催のシンポジウムが開催されました。登壇者は、大日向雅美学長（恵泉女学園大学）、小原奈津子学長（昭和女子大学）、鷹野景子学長（東京家政学院大学）、林佳世子学長（東京外国語大学）、矢口悦子学長（東洋大学）、

後半は戸谷陽子ジェンダー研究所長の進行による学長たちのパネルディスカッションです。学長就任までの経緯や、新時代の女性リーダーに期待される特性などについてさまざまな議論がなされました。

参加者は453名（対面67名、オンライン386名）に上りました。

文責：小林 誠
（グローバルリーダーシップ研究所 研究所長）



佐々木泰子学長（お茶の水女子大学）、これら学長に加えて植木朝子学長（同志社大学）がビデオメッセージを寄せました。各人が自己紹介や各大学の男女共同参画の取組みについて説明し、続いて石井クンツ昌子機構長が本学のグローバルリーダー育成、若手研究者支援に関する取組みについて説明しました。

アカデミック女性リーダーへの道(実践編) 1/24, 2/3, 2/10

大学院後期集中講義として開講している「アカデミック女性リーダーへの道(実践編)」は日本学術振興会特別研究員を目指す院生のための準備講座です。本講座は3日間(1月24日, 2月3日, 2月10日)のプログラムで構成され、初日は日本学術振興会の審査委員経験のある学内教員および学振特別研究員による講義から審査・申請の際のポイントを学びました。2日目には、講義を聞いて作成した仮申請書類に対する個別指導を受け、3日目のプレゼンテーション講座では自身の研究内容を効果的に伝える実践力を磨きました。次年度の学振特別研究員の申請に

向けた体系的な準備ができること、他領域・専門外の人にも自身の研究を説明するプレゼン力が磨かれることから、実践的な講座として受講生からも好評を得ています。また本講座を修了した院生のなかから、毎年学振特別研究員が誕生しており、授業の有効性も裏付けられています。本授業は次年度も開講予定です。院生の皆さんの積極的な参加を歓迎します。

文責: 宝月 理恵
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

院生の皆さん 必見!!
学振特別研究員を目指そう!!
～研究計画・資金調達・プレゼンのコツを学ぶ～

第1日 2023年1月24日(火) 10:00-16:30
第2日 2023年2月3日(水) 10:00-16:30
第3日 2023年2月10日(日) 9:00-17:00

【対象】 博士前期課程・後期課程の学生
※学振特別研究員を目指す院生、学振特別研究員経験のある院生、学振特別研究員経験のある院生、学振特別研究員経験のある院生、学振特別研究員経験のある院生



グローバル・リーダーシップ実習 I・II

「グローバル・リーダーシップ実習 I・II」として開講している授業の一環として、2月に本学学部生9名がイタリアのパヴィア大学の女子カレッジであるCollegio Nuovoに約10日間滞在しました。学生同士の交流はもちろんのこと、現地教員によるリーダーシップ講義や、パヴィアで活躍する女性リーダーを訪問する機会も得ました。週末はExcursionとしてミラノやジェノバ、ベネチアを訪れた学生もあり、慣れない土地でチームとして行動するプロセスからもリーダーシップへの理解を深めました。滞在中はセルフ・リ

フレクションとしてジャーナルを書くことを日課とし、自らのリーダーシップのみならず仲間のリーダーシップについても分析的に捉えることができました。Collegio Nuovoで得た素晴らしい経験を学生が今後どう発展させていくのが非常に楽しみです。

文責: 岡村 利恵
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)



女性のキャリアと法制度

キャリアデザインプログラムの基幹科目の一つである「女性のキャリアと法制度」は、家族社会学とジェンダーの視点から、女性の労働・就労や、現代のライフコース選択にかかわる様々な問題について分析・考察し、働く女性に関する実態や法制度について学ぶとともに、受講生自身の将来のキャリア形成について考えることを目的としています。

今年度の受講生は1年生を中心とした23名（留学生1名を含む）で、授業全体の3分の2は講義、残りは受講生による個人発表で構成されました。個人発表のテーマは「男性の家事と育児」「ケアワーカーを守る法」「就活と女性」「働く女性と生理休暇」「コロナ禍における女性雇

用の現状」等、多様性に富むものとなりました。発表10分、質疑応答5分と短いものでしたが、質疑応答は毎回白熱したものとなりました。受講生同士がコメントし合うことを通して、より一層理解を深めることにつながったようです。個人発表はコメントを活かしつつ、期末レポートとして仕上げるのが求められます。受講生が本授業で得た学びを、将来のキャリア形成に活用してくれることを期待しています。

文責：宝月 理恵
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

女性のキャリアと経済

本講座は、産業界、金融界、公的機関、マスコミなど各分野の第一線で活躍中の女性社会人の方をゲスト講師としてお迎えし、その仕事内容や社会的な意義、女性が自立したキャリアを構築していくうえでの心構えなどについて、ざっくばらんにご講話頂くことを主眼にしています。

本年は、中野幹子氏（10月18日、JR九州執行役員）を皮切りに、秋田夏美氏（10月25日、みずほフィナンシャルグループ執行役員）、阪本未来子氏（11月1日、セントラル警備保障取締役常務執行役員）、豊田祐基子氏（11月8日、ロイター通信日本支局長）、阿久津靖子氏（11月29日、MTヘルスケアデザイン研究所所長）、一木典子氏（12月13日、サントリーホールディングスCSR推進部部长）、重次泰子氏（12月20日、Gallup社認定ストレングスコーチ）、奥愛氏（1月10日、関東財務局東京財務事務所次長）の計8名の方々にご登壇を頂き、それぞれの職業体験について多岐に亘るお話を伺いました。

本年度は3年ぶりの対面型講座となりましたが、いずれの回もプロフェッショナルとしてのゲスト講師の高い熱度裏付けられた内容で、成功談のみならず、キャリアの途上で直面した挫折や葛藤、それらの経験を通じて得られた知見や教訓などについても、率直なお話を開陳して頂きました。学生との質疑応答も毎回活発で、女性の社会貢献やリーダーシップのあり方、自己啓発やワークライフバランスなどについて、受講者が具体的なイメージをもって考える機会になったと思われます。多くのゲスト講師陣からは「学生からの思いがけない問いかけに、こちらが触発された」、「これだけ熱心に聴講してくれる学生たちを前に、もっと対話する時間があればと思った」といった声も寄せられました。

文責：松下 顕
(グローバルリーダーシップ研究所 客員教授)



今年度後期の「ダイバーシティ論」はコロナ禍で2年にわたってオンライン開講だったものが対面開講へと切り替わりました。今年度は履修生も増え、聴講生も何人か見られ、学生のダイバーシティへの関心の高まりをより一層感じました。講義の題材として、1970年代の米国の大学入学試験でのアファーマティブ・アクションをめぐる裁判（Bakke事件）などを扱いました。また「ダイバーシティ」が企業によってどのように発信されているか、日本と海外との比較から批判的考察を試みました。さらに、「インクルージョン」や「共感」という概念の背景にある人間行動や心

理的な分析も紹介し、組織でダイバーシティを推進する上での課題についても理解を深めました。個人の価値観と倫理の狭間で自問自答を繰り返した先にダイバーシティへの真の理解がある、そのことを学生とのディスカッションを通じて再認識させられました。

文責：岡村 利恵
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

グローバル女性リーダー特論(基礎編) 10/11,11/8,11/15

この授業はアバナード寄附講座として2020年度から開講されました。大学院科目ですが、2022年度からは学部生も履修できるように「総合コース」としても開講しています。今年度は後期火曜9/10限に、国際交流プラザ多目的ホールで開講しました。ITコンサルタントであるアバナード社の多様なスタッフの能力を活用しながら、キャリア形成について学ぶことが授業の目標です。今年度は小西まさ美特任講師に加え、新たに日野紀子特任講師が主要な運営に来てくれました。初回と最終回の安間裕会長座談会、ロドリゴ・カセルタ・ゼネラル・マネージャーとカルラ・ラ

ムチャンドCOOのセミナー、エリック松永最高顧問による講義などを織り交ぜ、12月6日には六本木のアバナード社を訪問してワークショップと交流会をしました。受講生は院生4人、学部生8人でした。柔軟な発想で創発的に行動していくコツを学べたと思います。

文責：小林 誠
(グローバルリーダーシップ研究所 研究所長)

お茶の水女子大学
Chuo University

グローバルリーダーシップ特論

Growth Mindset and Leadership

2022.10.11 Tue.
16:40-18:10

対象：本学学生・教職員
対面&オンライン ハイブリッド開催

国際交流留学生プラザ 2階多目的ホールA・B

IT業界を軸とし、世界のマーケットや働き方の形は大きく変遷しています。世界経済の再編の中で、新しいリーダーのビジョンをどのように作り、相手を成長させながら、成長市場アジアも視野にどのように人間的な生き生きを築いていくのか。世界企業アバナードの社員が講演します。

講師
Rodrigo Caserta
Area President
Growth Markets
Avanade

Carla Ramchand
Chief Operating Officer
Growth Markets
Avanade

英語の講義となりますが、通訳日本語サポートも入ります
年内限定 本学学生・教職員
要事前申込み 締切：10/11 (火) 午前10時
PDA・オンライン申込みは、対象外授業とさせていただきます。
オンライン申込みは要事前申込みのうえ、当日Zoomリンクを9時15分までにメールにてご返信いただきます。お申し込みは先着順です。当日Zoomリンクを9時15分前までに届けてください。

問い合わせ先：グローバルリーダーシップ特論
E-mail: info-leader@cc.cocha.ac.jp

お茶の水女子大学
Chuo University

グローバルリーダーシップ特論

世界どこでも働ける人になるためには

NYからみるグローバルで活躍する女性リーダーとは？

2022.11.8 Tue.
16:40-18:10

グローバルにはキャリア構築の仕方がいろいろありますが、25年間ニューヨークを基盤に、数回アメリカ、日本間の交遊の分野で活躍中であり、現在はタイタ、日本企業の社外取締役としても活躍する女性が、その自身の経験から学んだことを話し、みんなとディスカッションします。

講師 渡邊 裕子
HSW JAPAN 共同代表
GreenMarket アドバイザー、
株式会社アバナードの取締役、
ライター

■ 年内限定 本学学生・教職員
■ 国際交流留学生プラザ 2階多目的ホールA・B
■ 対面&オンライン ハイブリッド開催
■ 要事前申込み 締切：11/7 (月) 17時

※ 当日Zoomリンクは11/8 (火) 正午までにメールでご返信します。

問い合わせ先：グローバルリーダーシップ特論
E-mail: info-leader@cc.cocha.ac.jp

対面がオススメ!

お茶の水女子大学
Chuo University

グローバルリーダーシップ特論

ニューノーマル時代に必要とされる人材、女性のキャリア戦略

2022.11.15 Tue.
16:40-18:10

対象：本学学生・教職員
対面&オンライン ハイブリッド開催

国際交流留学生プラザ 2階多目的ホールA・B

グローバル経済再編の中で、私たちが抱えている課題が変化しています。自分自身の強みや弱みや家族の役割の再見直し、生活と仕事を両立させるための女性リーダーになるにはどうしたらいいのでしょうか。キャリアの再構築が求められます。

講師 morich 代表取締役 藤本千賀子
監修 エージェント

1990年代から2010年代後半まで、グローバル企業で勤務し、2017年からは自身の起業家としての活動に注力。2022年からは自身の経験に基づき、女性リーダーの育成に注力。自身の経験に基づき、女性リーダーの育成に注力。自身の経験に基づき、女性リーダーの育成に注力。

■ 年内限定 本学学生・教職員
■ 国際交流留学生プラザ 2階多目的ホールA・B
■ 要事前申込み 締切：11/14 (月) 17時
■ 対面&オンライン ハイブリッド開催

※ 当日Zoomリンクは11/15 (火) 正午までにメールでご返信します。

問い合わせ先：グローバルリーダーシップ特論
E-mail: info-leader@cc.cocha.ac.jp

対面がオススメ!



お茶大女性リーダー育成塾：徽音塾 2022年度後期活動報告と2023年度の講座案内

2022度の受講者は過去最高の211名となり、塾生も延べ370名に達しました。産前・産後休業や育児休業期間に受講する塾生も多く、オンライン開催へのニーズの高まりを実感します。

9月にはお茶大プロフェッショナルレクチャー、10月から2023年2月にかけては、2日構成のビジネス講座を毎月開講しました。塾生からは、普段接することのない様々な職種・年齢の塾生との意見交換やグループワークがとても刺激的だったとの反響がありました。さらに、今年度はオンライン・ネットワーキングランチを4回開催し、塾生同士が気兼ねない会話を楽しみながら交流を深めました。

2023年度は引き続きオンライン開催をメインとしつつ、プログラムの一層の充実をはかります。女性のエンパワーメントとリーダーシップ講座(6科目)、お茶大プロフェッショナル

レクチャー(6科目)、ビジネス講座(6科目)の3講座18科目の開講に加え、6月3日(土)には、社会学者・東京大学名誉教授の上野千鶴子氏による特別講演を開催します(どなたでも参加可能・要申込・無料・対面のみ)。そのほか、ハイブリッド(対面・オンライン両方)での講座も企画しています。

3月11日(土)には2023年度説明会をオンライン開催します。参加費無料ですが、事前申込が必要となります。詳しくは徽音塾のWebサイトをご覧ください。皆さんの参加をお待ちしています。

文責：深澤 南土実
(グローバルリーダーシップ研究所
特任アソシエイトフェロー)



2022年9月～2023年2月開催の講座

(P)お茶大プロフェッショナルレクチャー、(B)ビジネス講座

2022年 開講科目		
(P)	9/3	SDGsについて学ぶ ②「私たちと地球の健康～食べ過ぎと食べ残しを減らすために何ができるか～」(赤松利恵)
(P)	9/10	SDGsについて学ぶ ②「環境科学から見たごみ問題とSDGs」(中久保豊彦)
(P)	9/17	SDGsについて学ぶ ②「生態学から土地利用の将来を考える」(服田昌之)
(B)	10/15・22	働く女性のためのイノベーション創出方法「新規事業開発に効く！イノベーション創出の思考法」(鹿住倫世)
(B)	11/5・12	働く女性のためのマーケティング「マーケティング入門」(神原理)
(B)	12/3・10	働く女性のための表現力とコミュニケーション術「文字・声・画像が創り出す印象とコミュニケーションへの応用」(内藤章江)
2023年 開講科目		
(B)	1/14・21	働く女性のための意思決定とセルフエフィカシー「貴女のリーダーシップを磨くよりよいキャリアを積むために」(高田朝子)
(B)	2/11・18	働く女性のための法政策・法制度「働くあなたを守る、知っておきたい労働法」(内藤忍)

2023年度 開催概要

時間：13:30-16:40(すべて土曜日)

形式：Zoomを使うオンライン講座

※ PCでの受講を推奨します

※ 1科目から受講いただけます

※ 最新情報はHP、Twitterをご覧ください

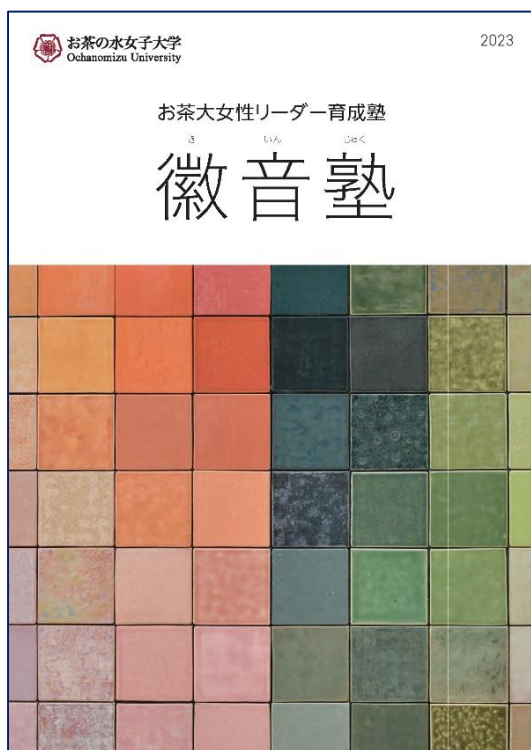


Webサイト



Twitter

講座区分	E 女性のエンパワーメントとリーダーシップ講座	P お茶大プロフェッショナルレクチャー	B ビジネス講座	
01	E01	2023/5/13	自分らしく生きる - キャリアもプライベートも自分で選択する -	木村 恵子
02	E02	2023/5/20	リーダーシップ、社会、そして私 - ジェンダーと文化の視点で見えてくるもの	岡村 利恵
03	E03	2023/5/27	多様なメンバーの持ち味を引き出すチームをどう作るか	辰巳 哲子
04	E04	2023/6/3	女なら誰でもいいのか?: 女性がリーダーになると何が変わるか ※対面のみ	上野 千鶴子
05	E05	2023/6/17	ピンチをチャンスに! 私の出産後のキャリア形成	小西 雅子
06	E06	2023/6/24	変化する時代に、私らしいしなやかなキャリアを	島津 めぐみ
07	P01	2023/7/1	私たちと地球の健康 ~食から地球環境を考えてみよう~	赤松 利恵
08	P02	2023/7/8	ジェンダード・イノベーションのすすめ ~多様性を包摂する社会の実現を目指して~	佐々木 成江
09	P03	2023/7/15	生物の“多様性”から考える理想の未来像 ※ハイブリッド(対面・オンライン)	髙田 智
10	P04	2023/7/22	「貧困とは何か?」を考えてみる	三宅 雄大
11	B01	2023/8/19、26	新規事業開発に効く! イノベーション創出の知識と視点	鹿住 倫世
12	P05	2023/9/2	〈健康〉と〈病い〉から読み解く近現代社会の課題	宝月 理恵
13	P06	2023/9/9	グローバル資本主義とホームとしての地球(グローブ)	水野 勲
14	B02	2023/10/21、28	文字・声・画像が創り出す印象とコミュニケーションへの応用	内藤 章江
15	B03	2023/11/4、11	マーケティング入門	神原 理
16	B04	2023/11/18、25	いちばんやさしい脱炭素社会 ~カーボンニュートラルの最前線~	松田 有希
17	B05	2023/12/9、16	会計基礎力を身に付ける - 取引記録の仕組みと企業活動の成績表 -	櫻井 康弘
18	B06	2024/2/3、10	働くあなたを守る、知っておきたい労働法	内藤 忍



◇新しいパンフレットができあがりました。

お茶大女性リーダー育成塾
德音塾 特別講演
女なら誰でも
いいのか?

女性がリーダーになると何が変わるか

今日「あらゆる分野への男女共同参画」は国策であり、これに反対する者は誰もいない。だが女なら誰でもいいのか? 女性リーダーのなかには男性集団への過剰同一化を示す者もいることは実証されている。女性リーダーを増やすのは何のためか? 女性がリーダーに増えると何が変わるのか……を考えてみたい。

■日時
2023.6.3(土)
 13:30-15:00 (開場13:00)

■会場(対面のみ)
お茶の水女子大学

■講師
上野 千鶴子氏
社会学者・東京大学名誉教授
 認定NPO法人ワイメンアクションネットワーク理事長

■対象: 德音塾塾生、一般、本学学生・教職員
 ■申込: 参加無料、事前申込制、先着150名
<http://www.w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/>
 ■締切: 2023/5/29(月) ※定員に達し次第締め切

お茶の水女子大学 Ochanomizu University
 共催: お茶大女性リーダー育成塾・德音塾
 グローバルリーダーシップ開発局
 問合せ先: kiin0603@cc.ocha.ac.jp

◇ご参加お待ちしております。

2023年度前期IGL関連授業

前期授業

グローバルリーダーシップ研究所では、2023年度前期に以下の授業の開講を予定しています。学生の皆さんの積極的な受講を歓迎します。

授業名	開講時期	内容
お茶の水女子大学論 [23A0019] (学部) [CDP:キャリアデザインプログラム基幹科目]	水曜 9・10限	お茶大の歴史を学び、お茶大の今を知り、自らの未来を描くための授業です。以下の要素から成り立ちます。 ・ お茶大の歴史、お茶大生の特徴、学内のインターンシッププログラムの紹介 ・ 学長講演 ・ 特別講演 ・ お茶大卒業生のロールモデル講演 ・ 企業や起業の基礎に関する講義
キャリア開発特論(基礎編) [23S2006] (大学院) 総合コース[23A0034] (学部)	前期不定期	アクセンチュア株式会社協力のもと、本学卒業生を含む同社社員による講義や、社員と学生とのグループワークを通して、仕事、キャリア、グローバル人材とは何かについて学び考え、自らのキャリアプランを考えることを目的としています。

研究所から


若手研究者支援説明会

海外調査研究や国際学会発表を予定している皆さん!

「若手研究者支援」応募説明会

2023年4月13日(木) 12:20~12:50

@オンライン (Zoom)



【海外調査研究】 【国際学会発表】

2023年4月13日(木) 12:20~12:50

Zoom: 987 654 3210

申込先: 国立大学法人お茶の水女子大学 国際交流センター

グローバルリーダーシップ研究所では、国際的に活躍する女性リーダーの育成を目的として、本学の大学院博士後期課程生、ポスドク研究者等の(A)海外調査研究や(B)国際学会等での発表に対し、海外渡航費の支援を行います。応募される方は4月13日(木) 12:20~に実施する【応募者向け説明会】に必ず出席してください。

【説明会申込】



新しい図書が入りました

IGLでは毎年新しい図書を購入し、学生、教職員の皆様にご活用いただいております。附属図書館2階のリーダーシップ関連の書棚に並べてあります。お手に取ってご覧ください。OPACからも検索できますのでどうぞお読みください。

小林 誠 グローバルリーダーシップ研究所 研究所長退任のご挨拶

これから先へ

2019年度から5年間に渡って、所長と副所長を取りまぜながらIGLに関わってあっという間に5年が過ぎました。今年度でIGLの役職を終えるので、最後のご挨拶を申し上げます。研究機関として研究能力の向上をめざしましたが、研究所の抱える教育や行政の仕事がとてもたくさんあり、組織のあり方を研究の方向へ十分に展開することができなかったことは心残りです。しかし研究所のメンバーが教育と行政を実にしっかり支える中で、ここを基盤に国際研究拠点形成に向かうモメンタムをマグマみたいに蓄積したと言えるでしょう。これからの研究所が爆裂したはじけ方をすることを心待ちにしています。

グローバルリーダーシップ研究所 研究所長 小林 誠



【発行元】国立大学法人お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所
〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 人間文化創成科学研究科棟506室
Tel/Fax: 03 (5978) 5520 E-mail: info-leader@cc.ocha.ac.jp
URL: <https://www.cf.ocha.ac.jp/igl/>